

# 墨田区(東京都)の一体的実施

平成24年2月1日事業開始

区役所庁舎内に「就職支援コーナーすみだ」を開設し、区とハローワークによる生活保護受給者、住宅支援給付受給者等に対する一体的支援等を効果的・効率的に実施

区

福祉サービス、相談の実施等

国

職業紹介・職業相談の実施等



## ① 事業内容

- ・生活保護受給者、住宅支援給付受給者<sup>(※1)</sup>、就職困難者及び生活困窮者に対する支援

## ② 協定・事業計画

- ・墨田区長と東京労働局長及び墨田公共職業安定所長の間で協定<sup>(※2)</sup>を締結
- ・数値目標を盛り込んだ事業計画を墨田区と東京労働局及び墨田公共職業安定所の間で策定

\*1 平成25年4月1日から「住宅手当」は「住宅支援給付」に変更

\*2 協定の実施等について相互に要望することができ、出された要望には誠実に対応する旨を規定

## ③ 運営協議会

- ・墨田区職員、東京労働局職員、ハローワーク墨田職員をメンバーとする運営協議会を設置(墨田区長が会長)

福祉担当課が入居する庁舎に就職支援コーナーすみだを設置。身近な区役所で、予約制・担当者制で国の職員が対応し、福祉から就労までの一体的支援等を実現。

# 墨田区雇用と福祉の一体的就労支援事業

## (1) 実施体制

区		国	
・生活経済課	求職相談員(コーナー常駐) 1名	・墨田公共職業安定所職員	1名
・保護課	就労支援員 2名	・就職支援ナビゲーター	2名
	母子自立支援員 1名	・職業相談員	1名
・厚生課	住宅支援給付相談員 3名	・求人情報提供端末3台、職業紹介端末2台を配置	

## (2) 事業目標と取組状況

	25年度事業目標	取組状況(25年10月末時点)
就労支援	生活保護受給者等に対する就労支援を月15人以上実施する。	生活保護受給者等の支援対象者 4月 <u>15人</u> 7月 <u>13人</u> 10月 <u>15人</u> 5月 <u>15人</u> 8月 <u>13人</u> 6月 <u>15人</u> 9月 <u>11人</u>
	(参考)24年度目標 生活保護受給者等に対する就労支援を月12人以上実施	(参考)24年度実績 生活保護受給者等の支援対象者 161人 (目標達成率111.8%)
就職率	就労支援の対象とし、支援プランを策定した者の就職率 ・60%以上	支援対象者数 <u>97人</u> 就職件数 <u>64件</u> 就職率 <u>66.0%</u>
	(参考)24年度目標 就労支援の対象とし、支援プランを策定した者の就職率60%以上	(参考)24年度実績 73.3%

# 一体的実施事業による就職成功例

女性：46歳 希望職種：医療関係

## ○ 生活保護に至る過程

夫のDV被害で親族の家に身を寄せていたが折り合いが悪くなり3年前から母子寮に入寮し、児童扶養手当を受給するに至った。

## ① 抱える課題

- ・医療の専門職から離れて10年以上経過しているため、最新の技術に対応できるか疑問
- ・6歳の子どもがいるのでフルタイム、土日勤務は出来ない

## ② 支援内容・ポイント・経過

- ・技術面の問題点は求人者と相談の上、応募可能な求人を探す
- ・職歴のブランクが不安とならない履歴書、職務経歴書、面接対策についてアドバイス
- ・事情を理解してもらえた2件の医療機関に応募、先に面接したところで決定

## ③ 結果

- ・土曜勤務を除き、医療技術の正社員採用
- ※支援期間 1カ月

## ○ ハローワーク担当者の所感

当初は、職歴のブランクに戸惑いがあり医師の補助からスタートしたいとの考えを持っていたが、求人者と現状の相談をすることで信頼関係が得られるような面接に臨むことをアドバイス。結果として就職に結びついたと史料する。

## ○ 本人のコメント

思いのほか早くに現場復帰できることになったことと、家庭の事情を理解してもらえた事は、今後の仕事でお返ししたい。

男性：37、38歳（2人） 希望職種：未定（ダブルワーク）

## ○ 生活保護に至る過程

自営業を営む父を兄弟二人で手伝っていたが、父が死亡。残された障害者の母と兄弟の3人の生活費は底をつき保護に至る。

## ① 抱える課題

- ・長年、兄弟で団地清掃を続けている為やめることはできないが、若年者のダブルワークに求人者の理解が得られるか
- ・仲の良い兄弟でも就労意欲に差があり、特に兄の意欲が低い

## ② 支援内容・ポイント・経過

- ・求人者にダブルワークの了解を得ての紹介
- ・当初は、兄弟2人同時に職業相談の対応をしたが、兄弟の考えに相違があり個別に変更
- ・履歴書・面接対策について細かくアドバイス
- ・弟が先に内定した為、兄は焦りとともに就労意欲が増し、ほぼ同時期の就職決定

## ③ 結果

- ・兄 商品管理 パート採用
  - ・弟 清掃 パート採用
- ※支援期間 1カ月

## ○ 就職支援ナビゲーターの所感

弟は就職活動に意欲的でありアドバイスも素直に受け止め、積極的な就職活動が早目の内定が得られた。一方、兄は弟の刺激を受けて就職につながったと史料する。